広報いんざい市長室

山崎山洋

新「印西市」誕生から約1年8カ月がたとうとしています。去る10月22日、合併記念事業としては最後となる「印西市民まつり」がイオンモール屋外駐車場で行われました。この事業は、昨年度、市民のみなさんから公募した市民提案型の合併記念事業で、13ある市民提案型合併事業の最後を飾るものです。

市民提案型の合併記念事業は、新「印西市」としての速やかな一体性の確保、市民相互の親交および地域コミュニティの醸成を目的に公募したものです。「印西市民まつり」は、実行委員会を中心に、市民の手による市民まつりとして、印西市の魅力を市内外にアピールすることを目指し、市の地場産品の販売や市民団体などの活動の紹介などが行われました。来場者は約3万5000人を数え、イベントの最後は、その成功を祝うかのような華やかな打ち上げ花火で終了しました。この催し中で「せんべい焼きギネスに挑戦」と銘打ち、世界一大きいせんべいを焼くことに挑戦しましたが、残念ながらこの日は記録を達成することはできませんでした。しかし、11月16日に牧の原モアで再び挑戦した結果、直径162cmの大せんべいを焼き上げることに成功。記録を達成した実行委員会のみなさんにお祝いを申し上げると共に、各種の合併記念事業にご協力および参加いただいた多くのみなさんにお礼を申し上げます。

東日本大震災の経験を踏まえ、今後の大規模災害に備えるため、職員参集訓練および災害初動訓練を11月13日に実施しました。この訓練は震度6強の直下型地震の発生を想定し、職員おのおのが安全に登庁する方法や、速やかに災害対応の初動体制を取る方法を考え実践するもので、この訓練で得られた課題などは今後の災害対応策に生かしたいと考えています。

「印西市総合計画第1次基本計画」（素案）

市民説明会・市民意見公募を実施

市のまちづくりの基本的な指針となる印西市基本構想が、市議会の平成23年第3回定例会で議決されました。

これを受け、平成24年度から平成27年度までを計画期間とする第1次基本計画の策定に着手し、このたび素案がまとまりましたので、市民説明会を市内6会場で開催します。

また、併せて市民意見公募（パブリックコメント）を次のとおり実施します。

【市民説明会】

時・場左上表参照。

【市民意見公募】

◉意見募集の期間…12月17日(土)～12月31日(土)。

※資料の閲覧は、12月17日(土)からです。

◉第1次基本計画（素案）の公表…市役所・各支所・出張所・公民館・図書館または市ホームページで閲覧ができます。

◉意見を提出できる人…市内に在住、在勤または在学の人。

◉意見の提出方法…任意様式に住所・氏名・連絡先を明記し、左記まで持参または郵送（平成23年12月31日当日消印有効）、FAX、電子メールで提出。

※氏名などが明記していないものは無効。また、応募に要する諸費用は応募者本人の負担。

問企画政策課企画政策班（〒270－1396印西市大森2364－2・☎内線472・FAX(42)7242・メール kikakuka@mail.city.inzai.chiba.jp）。

◉市民説明会日程◉

期日	時間	会場
12/23(祝)	9:00～	文化ホール（大森）
	14:30～	本埜保健センター（笠神）
12/24(土)	10:00～	サザンプラザ（原山）
	16:00～	ふれあい文化館（草深）
12/25(日)	10:00～	小林コミュニティプラザ
	14:30～	ふれあいセンターいんば（美瀬）

ふれあいバスの実証運行を行っています

公共施設などへのアクセス向上やバス交通不便地域の解消を目的として運行している「ふれあいバス」は、多くのみなさんにご利用いただき、平成22年度には年間利用者数が15万人を突破しました。

現在、地域公共交通活性化協議会では、バス交通の更なる利便性向上を図るため、9月1日から、市内バス交通ネットワークの再編事業およびサービス改善事業の一環として、ふれあいバスの実証運行を行っています。日常の移動手段として、どうぞご活用ください。

◆実証運行の概要

①新設2ルートの運行

（1）市役所―木下駅―布佐―松山下公園―千葉ニュータウン中央駅

・運行時刻…7時台から19時台まで。

・便数…1日10便。

（2）印旛支所―印旛日医大駅―竜腹寺―印西牧の原駅

・運行時刻…7時台から18時台まで。

・便数…1日14便。

②日曜日、祝日などの運行

ふれあいバスは全ての6ルートで毎日（日曜、祝日、年末年始を含む）運行。

▶利用者に愛される公共交通機関として、今後もふれあいバスの利便性向上のため実証運行を行います

◆実証運行の利用者数（平成23年9月）

※かっこ内は1日あたりの人数

布佐ルート…1,853人（62人）

印旛支所ルート…1,346人（45人）

日曜、祝日…※2,091人（349人）

※6ルート合計の利用者数

◆時刻表・運行ルート図

時刻表・運行ルート図は、市役所や印旛・本埜支所をはじめ、市内各公共施設に配置しています。また、市ホームページ（http://www.city.inzai.chiba.jp/www/contents/1311317915491/index.html）でも公開していますので、ご利用ください。

◆時刻・乗継検索システム

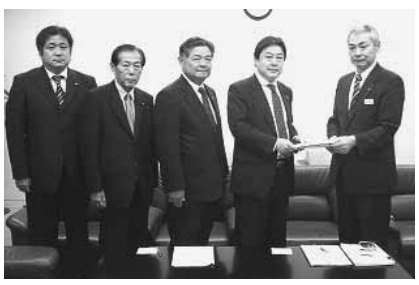
東京電機大学との連携により制作された「ふれあいバス時刻・乗継検索システム」を市ホームページにて公開しています（http://www2.city.inzai.chiba.jp/bussearch/search.html）。

このシステムでは、新設2ルートを含め、ふれあいバス全路線の時刻を検索できますので、どうぞご活用ください。

問企画政策課交通政策室（☎内線475・476）。

成田線活性化推進協議会 JRに利便性向上など要望を実施

去る10月19日、印西市など、成田線沿線の7市町で構成する成田線活性化推進協議会では、会長の星野我孫子市長、副会長の山崎印西市長をはじめ、構成する市町長、議長とともに、JR東日本千葉支社と東京支社を訪ね、成田線の利便性向上を求める要望書を提出しました。



▲要望書は成田線活性化推進協議会よりJR東日本の手へ

今回の要望内容は、以下の通りです。

①我孫子発21時以降、成田発22時台の増発

②震災などの緊急時における情報提供の円滑化

③東北縦貫線の開業による常磐線快速電車の東京駅乗り入れ

④成田空港への快速列車の運行

⑤成田新高速鉄道との交差部に新駅の設置

⑥木下駅の始発電車の運行にあわせた改札内エレベーターおよび券売機の稼働

⑦小林駅の駅舎改良の推進など

本協議会では、今後とも成田線の活性化に取り組んでいきます。

問企画政策課交通政策室（☎内線475・476）。

平成22年国勢調査
人口等基本集計（確定値）結果

昨年10月1日を基準日に実施した、平成22年国勢調査の人口等基本集計（確定値）が総務省統計局から公表されました。

合併後初の国勢調査ということもあり、注目されていた人口は88,176人で、前回調査に比べ7,074人増加しました。世帯数についても29,622世帯で、前回調査に比べ3,755世帯増加しています（下表参照）。

今後、平成24年4月に産業等基本集計、11月に職業等基本集計が順次公表される予定です。

詳しくは、総務省統計局のホームページhttp://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htmでご覧ください。

問情報管理課文書統計班（☎内線591・592）。

◉平成22年国勢調査人口比較◉

	平成22年	平成17年
人口総数	88,176人	81,102人
世帯数	29,622世帯	25,867世帯

※平成17年は、旧印旛村・本埜村を含む数値。